

## 【団塊の世代 パートⅡ】

会社人間の多くは、ボランティアや社会貢献活動には馴染みがない。だから苦手意識が先に立つ。ボランティアとは無償の奉仕で、介護や子育てなど福祉系の活動がほとんどだと思っている。

これから少しは自分の人生をエンジョイしようと思っているときに、さっそく介護、福祉ばかりでは気が重いのだ。

団塊の世代に「定年後にやりたいことは？」と聞くと、高い比率でボランティアという選択肢が挙がる。それは具体的にやりたいことがあるからではなくて、定年後はボランティアという選択肢もあるという理解にすぎない。だから「言ってくればやるよ」になるのだ。

一方で女性は無償と言う形にこだわりすぎる人もいる。女性の場合は報酬よりも自分自身がその活動で、どれだけ満足したかに重きを置く傾向がある。

ただ、ボランティア精神だけでは、NPO などの本格的な活動に発展させることは難しい。

最近是有償ボランティアが主流になってきた。災害などの緊急時はともかく、無償ボランティアは個人の善意に頼りすぎて、危うい場合がある。

やってあげているという意識が強いと、少し都合が悪くなったときに、簡単に活動を止めてしまったり、無責任になりやすい。また、個人に過度の負担がかかり、力尽きて長続きしないことがある。

有償であれば、そこに責任と覚悟ができ、活動の質も上がる。ボランティアの場合は有償といっても、交通費やほどほどの日当程度であることが多い。最低でも、その程度は払えるような活動をしないと、活動の存続はもとより、効果も期待できない。

そう考えると、企業戦士と言われた人たちの無償というシステムへの違和感は、案外、あたっている。地域活動の知識がないからといって遠慮することはない。

疑問は疑問として、素直に表現することは大事だ。それが地域における新人の役割である。すでに活動している人たちも、新メンバーを取りこんで新鮮な意見を取り入れながら成長していくという姿勢が大切である。

## ～ 参加者報告～

10月9日 カウンセリング基礎講座

中村 正輝さん

今回のテーマ「他人のストレスと付き合い方」に対し、私は当初難しそうと思っていました。しかし、講師は身近なことから講座を展開され、分かり易く学びは大きかったです。

例えば、自分から相手に挨拶して無愛想に返されたとき、相手はいそがしかったのかもしれないと察すると自分のストレスは軽減できる。また、相手に悩みを打ち明けられても、なかなかその全ては聞き取れない。そこで「～ですか」と返すと、聞き取れなかった部分を補って相手の今の状態の全てが見えてくる。演習の繰り返しでその意義が体感できました。

特に後者は「自分が相手の鏡となる」ことであると学びました。鏡となると相手は「分かってくれている」という安心感を持って、鏡の奥の自分像を見つめ直せる。これがあると日常生活は絶対豊かになると思いました。

11月13日 コーディネーター初級講座

高橋 直子さん

カウンセリング講座を3年間かけて、勉強させていただいております。初めて受講した時の感想は、体験型の授業で、何か分からないけど、とっても楽しかったので、また来よう！と思って、あっという間の3年間で、何回か行くうちに顔見知りになり、いつの間にかカウンセリング終わったあとに、皆でお茶する楽しみもできました。何よりも自分を認めて、他人も認めなければ人間関係はうまくいかないということが分かり、カウンセリングに通うことにより、少しずつ性格が明るくなり、自分を認め他人も認められるようになり、着る洋服も水色がピンクになったねって先生から言われるようになりました。

これからも続けていこうと思います。ありがとうございます。

## ～ 活動報告 ～

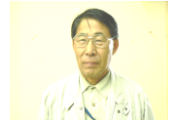
### 「高齢者パソコン教室」 (H22年度分)



60歳以上の方を対象にした、初心者のための「高齢者パソコン教室」が開催されました。10日間で、パソコンのスイッチを入れるところから、ワードやエクセル、Eメール、などについて学びます。

この教室は、参加者と講師の方々の年齢が近く、和気あいあいとした雰囲気の良いところです。講師の方々もパソコンを始めたころの事を思い出しながら、参加者の方へわかりやすく工夫しながら声をかけていました。

また、参加者18人に対して、講師の人数が15人前後と多いのも良い点です。



参加者の方からも「すぐに分からないところが聞けて、とてもいい。」と感想を頂きました。

10日間で幅広く学習するため、今回の講座で全てを習得することは難しいですが、ぜひ今後もパソコンに親しんでいただきたいです。

【パソコンを楽しく学ぶ会】

【代表 北野先生】

## ～ 予告 ～

### カウンセリング基礎講座

#### ■ (第5回) 課題:「他人の援助を通じ成長しよう」

○日時・場所 12月11日(土) 14:00~16:00 いきいき情報センター206・207号室

○講師 吉田久美子さん(NPO法人日本ケア・カウンセリング協会理事、元福大病院看護師長)

○募集人数 30名 ○参加費 100円

### 地域支援コーディネーター講座

#### ■ 《初級》第5回 「ロールプレイ法②」

#### ■ 《中級》第5回 「ボランティアの現場で遭遇する困った事例を検討する」

○日時・場所 1月15日(土) 《初級》14:00~16:30 いきいき情報センター208号室

《中級》10:15~11:45 いきいき情報センター210号室

○講師 吉田久美子さん(NPO法人日本ケア・カウンセリング協会理事、元福大病院看護師長)

松澤秀樹さん(社会福祉士、NPO法人権利擁護支援センターふくおかネット理事)

○対象者 カウンセリング基礎講座修了者・対人関係に携わる専門職の方・地域で福祉関係の担当をしている方 等

○参加費 500円

### 防災講座

#### ■ (第49回) 課題:「避難生活とは?」

日時: 12月18日(土) 15:00~17:00

#### ■ (第50回) 課題:「地域防災力強化」

日時: 1月15日(土) 15:00~17:00

○場所 いきいき情報センター 208号室

○講師 ふくおか災害ネットワーク 代表 酒井澄彦さん

○募集人数 30名 ○参加費 100円

○対象 ボランティア活動をしている人・団体の方

◆-----◆  
申込・問い合わせは 「太宰府市NPO・ボランティア支援センター」 にお願ひします。

太宰府市五条三丁目1番1号 いきいき情報センター 1階

平日 10:00~18:00 土・日曜日 12:00~18:00

(休業日 毎週水曜日、祝日、8月13日~15日、12月28日~1月4日)

電話 918-3633 ファックス 918-3644 担当者 湯川・榊

E-mail [dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp](mailto:dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp) HP <http://www4.ocn.ne.jp/~volusen/>

### ■事務局からのお知らせ

NPOやボランティア団体の方で、ホームページ、通信を利用して、市民のみなさんにお知らせしたい内容を募集します。  
ファックス 918-3644 E-mail [dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp](mailto:dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp) に連絡ください。

太宰府市NPO・ボランティア支援センター事務局